

My Sonic Signature Gold の活用(39)  
—アナログと他メディアの比較試聴(39) —

1. はじめに

前報(38)に引き続き、ハイドンの交響曲を取り上げます。今回は BPODCH から選びました。BPODCH のアーカイブには、ハイドンの交響曲が数多くありますが、これらを一挙に聴いていきます。

2. My Sonic Signature Gold の試聴結果

前報(13)に述べた方法で試聴していきます。

【BPODCH】

2015.10.24 収録 ジョヴァンニ・アントニーニ指揮ベルリンフィル  
ヨーゼフ・ハイドン 交響曲 101 番<時計>



2015.6.15 収録 ラトル指揮ベルリンフィル  
ヨーゼフ・ハイドン 交響曲 80 番



2012.9.23 収録 ラトル指揮ベルリンフィル  
ヨーゼフ・ハイドン 交響曲 95 番



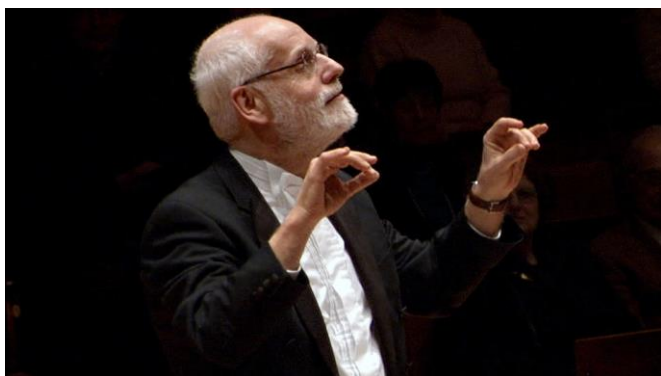
2011.2.12 収録 ラトル指揮ベルリンフィル  
ヨーゼフ・ハイドン 交響曲 99 番



2010.4.17 収録 アン드ラーシュ・シフ指揮ベルリンフィル  
ヨーゼフ・ハイドン 交響曲 100 番<軍隊>



2010.1.30 収録 トン・コープマン指揮ベルリンフィル  
ヨーゼフ・ハイドン 交響曲 98 番



2009.10.24 収録 イヴァン・フィシャー指揮ベルリンフィル  
ヨーゼフ・ハイドン 交響曲 88 番



2008.11.1 収録 ラトル指揮ベルリンフィル  
ヨーゼフ・ハイドン 交響曲 92 番<オックスフォード>



2001.5.1 収録 ヤンソンス指揮ベルリンフィル  
ヨーゼフ・ハイドン 交響曲 94 番<驚愕>



### 3. My Sonic Signature Gold の試聴結果

ハイドンの交響曲は数が多いので、演奏される回数も上記のように多くなります。

2015.10.24 収録のアントニーニ指揮交響曲 101 番は、アントニーニの指揮は初めてですが、手堅い演奏です。

2015.6.15 収録のラトル指揮の交響曲 80 番は、録音年代が新しく、音は一番良く録れています。作曲年代は他に比べて早期のもので、ハイドンの交響曲のイメージが少し違っており、アンサンブル風の曲です。

2012.9.23 収録のラトル指揮の交響曲 95 番は、優雅さと躍動感が交互に現れる演奏です。

2011.2.12 収録のラトル指揮交響曲 99 番は、スイングするような、あるいはスキップするようなノリの良い演奏です。

2010.4.17 収録のシフ指揮の交響曲 100 番は、ピアニストのシフが弾き振りの他にオーケストラの指揮をするのは初めてみました。指揮ぶりも堂に入っており、美しいハーモニーを奏でてくれます。

2010.1.30 収録のコープマン指揮の交響曲 98 番は、年齢を感じさせないコープマンの大きな身振り手振りの指揮の下、躍動的な演奏です。

2009.10.24 収録のフィシャー指揮の交響曲 88 番は、フィシャーの切れの良い指揮の下、軽快な演奏です。

2008.11.1 収録のラトル指揮の交響曲 92 番は、ハイドンを多く取り上げている初期の演奏です。ラトルが張り切って生き生きと指揮しています。

2001.5.1 収録のヤンソンス指揮の交響曲 94 番は、イスタンブールの古い教会のようなどころでのヨーロッパコンサートの収録ですが、ヤンソンスも団員のメンバーも若く、ヤンソンスが楽しそうに指揮しています。

### 4. まとめ

ベルリンフィルの年代を超え、指揮者を変えてのハイドンを集中的に聴いてきまし

た。音はあくまでベルリンフィルの音で一貫していますが、指揮者により微妙に演奏に変化があるのは興味深いところです。

前報(35)からは、メディアを変え、演奏を変えて、ハイドンの交響曲を聴いてきて分かったことは、演奏母体の地域性や年代によって、かなり大きな違いがあることです。

以上